

小切手詐偽に注意

ヨーク郡警察は、いろいろな手口の小切手詐偽の横行しているので注意することと、被害を防ぐための方法について呼びかけている。

小切手詐偽を働く犯人は、被害者が経済利益を得られる見せかけを仕組む。この4月にヨーク郡で摘発された例は、ジョージナ町で起きている。

被害者はインターネットに掲載された「覆面モニター」広告に応募した。この被害者は、募集した会社から、規模の大きな金融会社の顧客サービスについて評価・コメントをする「覆面モニター」に選ばれた旨の手紙を受け取った。手紙には額面\$2500の小切手が同封されており、被害者はこの小切手を現金化し、エドモントンに送金するよう指示されていた。被害者は、この行為の代償として\$200の料金を受け取る子とも手紙にあった。被害者は小切手を預金し、数日後に額面金額を指示通りに送金した。数日後、この女性は銀行から、この小切手は偽造であるとの連絡を受けた。会社との連絡は取れず、被害者は\$2500を丸損した。

別の頻繁に起きている小切手詐偽の例では、被害者が個人所有の不動産広告を新聞やインターネットを通じて出した際に起きている。こういった広告は、詐欺師を誘う込んでいるようなものなのだ。犯人は売り手に連絡を取り、契約額より多額の小切手を送付する。被害者は、契約額は受け取り、余分な金額を面倒だが電信為替で返金して欲しいといわれる。その後不動産の引渡しは行われず、銀行からは小切手が偽造で現金化できず、送金は被害者の責任ですで行われている旨が知らされる。

ヨーク郡警察は、この種の詐偽の被害にあわないよう、十分な注意が必要であるとしている。小切手の正規な現金化には一月ほどの時間がかかるが、為替送金は即時である。口座には、小切手が正式に現金化される以前に、小切手による入金があったかのような記入が行われる。もし本当ならうますぎる話は注意を要する。個人情報や電話やインターネットで公表しないこと、そしてパスワードや個人認識番号は人に伝えないこと。売買を急いだり、急いで物事を決めないこと。

公的な保証の無い要請や疑わしい電話、emailについては、常に信用調査機関に問い合わせること。

さらに詳しい情報は、ヨーク郡警察中央詐偽課(電話 1-866-876-5423, ext. 6612)、またはウェブサイト www.yrp.ca) に問い合わせること。

JSS 説明

警察の発表やマスコミのニュースを見ていると、毎日のように同種の事件が報道されている。これらの手口は多種多様であり、利用される道具立ては、いわゆるプラスチックマネーやクレジットカード、投資話、宝くじ当選、困っている人を助ける話などなど一定ではないが、被害者の欲心や義侠心をそそって騙すという点ではあまり違いは無い。

訳出した記事では、小切手の取り扱いと現金為替の取り扱いに時間的な差があることを利用しており、併せて取り上げた記事では「商品券」が騙しの道具になっている。

記事にもあるとおり、うまい、ないしはうますぎる儲け話は疑ってかかるのが常識であり、必要なら公的な機関などに真偽を問い合わせる事が肝心である。また、そういった時間的余裕を与えない話は疑うべきである。

こういった被害にあった人は、得てして事態を口外しないから、事件はあまり起きていないように感じてしまうが、犯人が検挙されると、それまでに明るみが出ていなかった被害が多数見つかるのが常であることを考えると、少なくない人が被害を受けていることは自明だ。

なお、警察や関係当局が躍起になっている個人認識情報の盗み出しは依然として横行しているし、最近では類似の事件として偽造紙幣の流通が度々報道されている。またインターネットや電話を利用して、身元が判明しない手口も数多い。